

宮城県_松島離宮

持続可能な地域活性化・少子化対策に結びつく取組
〔恋人の聖地 第3回地域活性化大賞 応募様式〕

プロジェクト名	松島湾を望む！恋人の聖地発信プロジェクト
申請者(地方自治体名・団体・企業名など)	宮城県 松島離宮
1.地域・施設の特徴	<p>■地域概要:松島町は、東北地方の宮城県の沿岸地域中部に所在する町。太平洋の松島湾に面する地域で、日本三景の一つに数えられる松島として知られている。この松島湾の島は、地球の誕生から現在までを示す地質時代の新第三紀という今から約2300万年前から約260万年前につくられた地層に含まれるもので、海水によって少しずつ削られては海食崖という、えぐられたような地形となり、松島湾の特徴的な景観を作り上げている。</p> <p>これらの島々を望む絶景を巡れる遊覧船や、国宝である瑞巖寺や五大堂、色彩豊かな庭園のある円通院など、多くの観光資源があり、宮城県を代表する観光名所となっている。</p> <p>■観光客情報:日本三景松島と言われる松島湾全体では、年間600万人の観光客入込、松島町においては、年間300万人の観光客入込数。新型コロナ禍となり令和2年度は160万人と半減し、以前は観光客割合としてインバウンド観光客が約10%県内観光客40%県外観光客50%の割合で訪れている。「恋」や「恋愛」に関して、歩く順番迄が話題になっている縁結びスポットの3つの橋もある。</p> <p>最初に行くのは、松島の地名の由来にもなっている雄島にかかる「渡月橋」は、悪い過去と決別し悪縁を切る橋と言われており、かつて雄島へ修行に渡る僧たちが俗世との縁を切ったことが由来から、良縁を結ぶ前にまずは悪縁を切ってくれる縁切り橋として有名。</p> <p>その次に行くのは、良縁を引き寄せる出会い橋「福浦橋」。3つの橋の中で全長252mと最も長く、出会い橋と呼ばれ良縁橋を渡った先にある福浦島にある弁天堂の社殿には、恋愛等の願いを込めた、ものすごい数の小さなだるまがびっしりと並んでいる。</p> <p>最後にわたるのは、国重要文化財でもある「五大堂」にわたる小さな「透かし橋」。江戸時代中期から透かし構造になっていたといわれ、身も心も乱れのないうよう足をよく見つめて歩く必要があり、互いによく見て気を引き締めること、下が見えるのが怖く手をつないで渡るといことから縁結びの橋とされている。</p> <p>■施設の特徴:日本三景松島の中心に位置する県立松島公園内に2020年秋に開業した観光拠点「宮城県松島離宮」。松島湾を取り囲む自治体3市3町と連携した新しい観光の発信や東北の食・土産の発信などを行っている。</p> <p>宮城県松島離宮の園内には、松島の守り神である日吉山神社から分祀された鳥居と小さな祠があり、3つの橋を渡った最後に訪れて「恋愛成就」や新しいカップルのプロポーズの場所としてSNSでも話題になっている。その結果、コロナ禍でも年間観光客入込数16万人と、松島町の観光客入込数の約10%を担えるまでに成長している。</p>

2.地域活性化に結びつく活動目標・目的などについて	<p>日本三景松島としての特別な場所の意味や、パワースポットとしての由来、そして日中のみの観光滞在型からの脱却を図る取り組みを実施する事で、地域活性化に結び付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本三景松島としての特別な場所を伝える 景色が綺麗という漠然としたイメージではなく、日本国内でも唯一の断層があり、海からの松島湾の地形造成が特別。その影響は、東日本大震災でも宮城県の沿岸部で、津波の影響が最も少ない事にもつながる。その特別な景観を伝える。 霊場「松島」としてのパワースポットを伝える 日本三景松島として、景色が綺麗というイメージが強いが、本来の松島の歴史は、古くは中世の頃は「奥州の高野」と称される諸国から集まった僧が修行に励む霊場でもあった。それくらいパワースポットとしての御利益がある場所という土地柄を伝える 夜も楽しめる滞在型観光につなげる 今までの松島は、日中に遊覧船に乗り、瑞巖寺に立ち寄ったらあとは見るところがない。地元の人やカップルが行くような場所ではないというイメージが定着している。このイメージを払しょくする為、カップルや夫婦が訪れて楽しむ空間演出を行い、夜までの滞在型観光、地元人も訪れる場所に変える事で、地域活性化につなげる。
3.地域活性化に結びつく活動内容・実績などについて	<p>宮城県の観光地として、地元の方々が近寄りづらい雰囲気改善するために、「恋人の聖地プロジェクト」を活用し、県外観光客のみならず、地域の恋人達も集まり、地域を自ら盛り上げられる仕組みに変えてゆく活動として以下の取り組みを行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ハートの形のプールで愛を語る 今まで、松島エリアは特別名勝にも指定されている為、海岸沿いでありながら、水遊びができる場所がなかった。その為、施設内にハート形の簡易プールを整備し、日中はお子様がいる家族ずれに楽しんでもらい、夜はライトアップされたプールでカップルに楽しんでもらっている。 通年ライトアップイベントを実施して、夜に松島に訪れやすくする 施設全体を通年ライトアップしている。特に照明技術においては、日本照明学会の「照明普及賞」を受賞している。 https://www.ieij.or.jp/atarashii-shomei/2020/pg_09.html 2021年12月からは、恋人達にも認知度が高いクリエイター集団NAKEDと、東北では初めての常設型プロジェクションマッピングイベントを開催し、松島の夜に観光客だけでなく、恋人立ちを含む地域の方々も多くの来場され、周辺飲食店も夜間営業を行うところも出てきた。この結果、少しずつ地域活性化が具体的になってきている 恋人向けの体験コンテンツを創出 宝石作りやカップル向けマグカップ等、今まで松島になかった恋人向けの体験コンテンツを多数提供し、恋人同士の記念品作り・思い出作りの一助になる活動を実施。 松島湾の地形の歴史学が 施設内に東北大学 総合学術博物館と連携した松島湾の地形の不思議を学ぶコンテンツを造成。修学旅行生や日本に興味のあるインバウンド顧客に対して、日本三景の魅力を伝えている。

7.成果・注目ポイント



恋人向けブライダル撮影の会場として定着。施設を貸し切った結婚パーティーも認知され始めている。



恋人向け体験コンテンツが人気。二人で使うマグカップに砂を吹き付けるサンドブラスト体験や、松島産の竹を使った夫婦箸作り等、2人の旅の記念をお手伝い



施設内のレンタル着物を活用し、提携するカメラマンと一緒に街歩きをしながらの撮影プランが人気。女子旅やインバウンド顧客にも口コミが広がっています。



宮城県松島離宮の庭園内にあるカリヨンベル。ベルの高さが、東日本大震災当時の松島町の津波の高さで設置されており、鎮魂の意味も込めて、恋人達が鐘を鳴らしてくれます。



日吉山王神社から分祀された、「松島離宮(まつしまりぐう)」にて、インバウンド顧客や着物を着た恋人達が撮影されます。



紅葉シーズンや冬のライトアップイベントの認知が開業時から話題となり、2021年はwalkerplusによる宮城県ライトアップイベントランキング1位となりました。

4.取組みに関する広報活動・SNS配信などについて
(※審査以外での掲出・公表しません)

5.活動の効果(地域の反響)
(※審査以外での掲出・公表しません)

6.数字で表す実践前と実践後の成果・比較
(※審査以外での掲出・公表しません)